

リレーエッセイ No.1

山口県山口市立徳地中学校 山城直美

平成26年度から、新たに始めました会員によるリレーエッセイのトップバッターを務めさせていただくことになりました。

在勤校も5年を経過し、本校の学校運営協議会（コミュニティ・スクール）事務局のメンバーとして4年目を迎え、5月13日には第1回の学校運営協議会が終了し、今年度もコミュニティ・スクール事業がスタートしました。

勤務校の山口市立徳地中学校は、平成18年に4つの中学校が統合してできた新設校です。徳地地区内は面積が大変広く、旧佐波郡徳地町の時代には中学校4校と小学校5校がありました。現在は中学校1校、小学校5校となっています。

旧徳地町の時代の名残が強く、小学校区を単位とする各地域の連携は大変強いのですが、中学校区となると広範囲になるため、地域的にも連携が難しい現状を抱えています。

平成23年度から本校でもコミュニティ・スクールがスタートして、今年で4年目になりますが、徳地中学校のコミュニティ・スクールを基盤とした地域の連携が少しずつ広がっていく手応えを感じています。1年目は学校職員3名、地区から3名の運営委員、計6名で始まった学校運営協議会で先の見えない状況でしたが、地区からのメンバーが増え活発な情報交換を行う中で、地区からの提案である学校との連携事業も実施することができるようになりました。

山口県では「地域ぐるみの教育推進プロジェクト」として地域ぐるみで子供たちを見守り、支援するための本県独自の仕組みである「地域協育ネット」の推進が進められています。徳地地区内においても「徳地地域協育ネット」の立ち上げに向けて、徳地中学校のコミュニティ・スクール事業の一環として推進母体の検討グループを立ち上げました。徳地中学校のコミュニティ・スクールが、学校・家庭・地域との子育て環境の連携だけでなく、徳地地域全体の連携のきっかけになってくれれば幸いです。

徳地中学校におけるコミュニティ・スクールの事業については、今年度発行になる公教育計画学会の年報に寄稿しておりますので、読んでみてください。

次のリレーエッセイのバトンを、私が若いころから大変お世話になっている山口県の武波謙三 会員へ渡します。